

小学校英語

# Blue SKY elementary



5 6

Teacher's Manual

2020  
年度

指導書見本  
小学校外国語 指導書のご案内

- 朱註のご紹介
- 指導案集のご紹介
- ワークシートのご紹介

## 第1部 総説

英語教育の歴史や  
今日の小学校英語  
教育の動向、指導  
法などを解説してい  
ます。

## 第2部 詳説

## 朱註

教室に持ち込んで授業ができる実践型の指導書です。指導の流れ、指導法などを解説しています。

## 指導案集

指導計画などの資料作成時に役立つ指導例の詳細です。全時間分の指導案例を掲載しています。

## ワークシート集

教科書の学習を補完するシート集です。

## 評価テスト集

Unitごとに学習内容を確認できるテスト集です。

## 音声CD

教科書の新出語句やChant、演習問題、その他付録、評価テスト集のリスニング問題の音声を収録しています。

## CD-ROM

授業用資料の作成に利用できるデータを用意しています。

## 朱註の構成

## 授業の流れ

活動の順に番号をつけて、授業の流れがわかるようになっています。

## 紙面上の赤文字

解答、日本語訳のほか、児童がつまずきやすい内容や指導上の留意点、補足事項などを記載しています。

## スクリプト

「聞く」活動や演習の音声スクリプトを掲載しています。

 4 Listen and Play  (p.00)

刻や動作の言い方を知る。  
・時刻 It's 6:00 now. を聞いて場面を指さす。  
・その場面の動作 I get up at 6:00. を聞いて、「6時に起きる」という言い方に気づく。

## 留意点

- ・どんな英語が聞こえたかな?」「どんな意味だと思う?」などたずねて、それぞれの語句を確認する。
- ・先生が起きる時間を言い、児童にもたずねるなどをして使い方に慣れる。

 5 Jingle  (p.00)

音声のあとに続いて、リズムに乗って言ふ。

## 留意点

動作のジェスチャーをしながら発話して定着を促すよい。

 6 Listen and Say 1

1人ずつ順に数を数える。詰まったら数え、1~60の数の言い方を復習する。

 7 ゲーム

1から順に1人ずつ数字をカウントしていく、7のつく数字、または7の倍数のときは、数字を言わず「Buzz」と言う。間違った児童がゲームから外れる。1~60を廻し、残った児童が勝利。

 8 フィードバック

「時こくと生活の動作を示す表現を言ってみよう。」に対してどれだけきたか、パロメータを塗る。



**Part 1** Say time and daily routines.  
時こくと生活の動作を示す表現を言ってみよう。  
**How did you do today?** ざきたがな?  
This is Kai's daily routine.  
Kaiの1日です。  
どの場面のことを話していますか。指でさしましょう。

**Listen and Play**

get up 起きる eat breakfast 飯食を食べる go to school 学校へ行く  
do my homework 宿題をする take a bath 風呂に入る go to bed 寝る

**Listen and Do**

Count from 1 to 60.

**Listen and Say** 1. 1~60の数字を順番に言いましょう。  
2. 聞こえた時こくに○を付けて、言いましょう。

1 3:13 3:30 2 3:14 3:40 3 3:15 3:50  
13と30、14と40、15と50は聞き分けづらいので注意する。

## スクリプト (日本語訳→p.157)

**Listen and Play**  
It's 6:00 now. I get up at 6:00.  
It's 7:50 now. I go to school at 7:50.  
It's 8:00 now. I do my homework at 8:00.  
It's 10:00 now. I go to bed at 10:00.  
It's 9:00 now. I take a bath at 9:00.  
It's 7:30 now. I eat breakfast at 7:30.

## Jingle

get up, eat breakfast, go to school, do my homework, take a bath, go to bed  
**Listen and Say**  
No. 1 three thirty  
No. 2 three fourteen  
No. 3 three fifty



**Unit 3** 第 2 時(2/7)  
めあて いつ、何をするのかを聞き取ることができる。

**Chant** あなたは何時に起きますか。  
What time do you get up?  
I get up at 7:00.  
私は7時に起きます。

**Listen and Do**

What time do Sakura, Riku, Momoka do each action?  
Listen and write the time.  
Sakura, Riku, Momokaは何時に何をしますか。  
時こくを書きましょう。

**Listen and Guess** (p.31)  (p.00)  
1日の生活を表す動作表現を聞いて、その意味を場面リストから推測する。  
・p.31の夜の場面イラストの1からKai, Momoka, Taigaを探し、その動作を英語で聞く。  
・聞き取れた英語や推測した意味などをクラスで共有する。

## スクリプト (日本語訳→p.157)

**Chant**  
What time do you get up?  
— I get up at 7:00.  
What time do you go to school?  
— I go to school at 8:00.  
What time do you eat dinner?  
— I eat dinner at 6:00.  
What time do you go to bed?  
— I go to bed at 10:00.

**Listen and Do**  
No. 1 I get up at 6:15.  
I eat breakfast at 6:30.  
I go to school at 7:45.  
No. 2 I go home at 3:30.  
I do my homework at 4:00.  
I eat dinner at 8:00.  
No. 3 I eat dinner at 6:30.  
I do my homework at 7:30.  
I take a bath at 9:00.

## めあて

指導者が目指す、本時学習後に児童ができるようになっていてほしいことを記載しています。

## 紙面上の青文字

ALTが理解できるよう、指示文の英語訳を掲載しています。

## CD-00

活動に使用する音声CDのトラック番号を示しています。  
※制作中のため、番号は仮のものです。

## その他、朱註に掲載予定の内容

- Small Talk 集 ..... 既習表現を使ったやりとりの例や、新しい語句・表現の導入例を記載しています。
- スクリプトの日本語訳 ..... 全Unit分のスクリプトの日本語訳を掲載しています。
- ゲーム集 ..... 児童が楽しんで学べるゲーム集を掲載しています。

## 第1部 総説

英語教育の歴史や  
今日の小学校英語  
教育の動向、指導  
法などを解説してい  
ます。

## 第2部 詳説

## 朱 註

教室に持ち込んで授業ができる実践型の指導書です。指導の流れ、指導法などを解説しています。

## 指導案集

指導計画などの資料作成時に役立つ指導例の詳細です。全時間分の指導案例を掲載しています。

## ワークシート集

教科書の学習を補完するシート集です。

## 評価テスト集

Unitごとに学習内容を確認できるテスト集です。

## 音声CD

教科書の新出語句やChant、演習問題、その他付録、評価テスト集のリスニング問題の音声を収録しています。

## CD-ROM

授業用資料の作成に利用できるデータを用意しています。

## 指導案集の構成

## 単元目標

Unitでの観点別目標を示しています。

## 単元計画

1Unit 7単位時間分のおおまかな授業計画案です。

## Unit 3

## I sometimes walk the dog.

1日の生活 pp.30~39

## 単元目標

- 1日の生活を表す動作や時刻を言ったり、聞き取ったり、たずねたりすることができます。
- また、2階建ての小文字を持つアルファベットを読んだり書いたりすることができます。
- 1日の生活に関するまとまった話を聞いてその概要を理解したり、自分の1日の生活について話したりする。
- 1日の生活について他者と伝え合い、その内容について共感したり質問したりしながら会話を続ければうとする。また、外国の生活について興味を持ち、知ろうとする。

## 単元設定の理由

1日の生活の表現は、普段の生活においてはあまり伝え合うことのない話題だが、海外の生活など異文化に触れる際には、その説明の中でよく用いられるので、ぜひ知っておきたい。また、本題材を使うことで学ぶ基本的な動詞やその使い方は、英語学習の基礎を築くためにとても重要であり、更には6年生で過去の表現を扱う際の土台にもなるため、5年生の早い段階で学習するようにした。本題材は家庭科や養護とも関連させており、生活習慣や家の仕事をどのくらいしているかなど、自分の生活や行動を見直すきっかけとなることをねらいとしている。

ここでは頻度の表現を見直すきっかけとなることをねらいとしている。

頻度の表現は難しいが、抽象的な表現の感覚を身につけること、中学校で改めて文法学習をした際にスムーズに理解が進むようになります。

言語材料

1日の生活を表す表現(get up, eat breakfast, go to school, do my homework, take a bath, go to bed)、時刻、家の仕事を表す表現(clean my room, set the table, water the flowers, wash the dishes, take out the garbage, get the newspaper)、頻度(always, usually, sometimes, never)

What time do you (get up)? ~ I (get up) at (7:00).

I (always walk the dog).

After school I (eat lunch). Then I (play with my friend).

関連する学習指導要領における領域別目標	
聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のこころや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようになる。
話すこと(発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。
読むこと	ア 活字で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようになる。
書くこと	ア 大文字、小文字を字体で書くことができるようになる。

48

## 単元計画

## 1日の生活 pp.30~39

時 Part	目標と主な活動	使う技能				評価標準例
		聞く	読む(音読)	書く	聞く	
1.2 帰～1	生活を表す動作や時刻を聞き取ったり書けたりすることができる。	○ ○ ○ ○				知：動作や時刻を聞き取り、「いつ、何をするのか？」を理解できている。 思：イラストなどを見ながら他者の1日の生活を聞いて、内容を推測しながら概要をつかんでいる。 主：Small Talk やペアワークなどの際に、積極的に会話を楽しむ。 副：時刻を開き取る。 ・起きる時刻や寝る時刻などをたずね合ふ。
3.4 2	家でどんな仕事をどのくらいしているか伝えることができる。 ・家の仕事を表す英語を聞いて、覚えていく。単語から意味を推測する。 ・頻度の感覚を身につける。 ・動作や頻度を聞き取る。 ・家の仕事を振り返り、伝え合う。	○ ○ ○ ○				知：動作や頻度を開いて理解している。 思：自分が家でどんな仕事をどのくらいしているか伝えている。 主：他者の話を聞いて共感したり、伝え方についてよいところは見習おうとしたりしている。
5.6 3	自分が日課を伝えることができる。 ・外国の生活について聞き、概要をとらえる。 ・動作の頻度や時刻を開き取る。 ・1日の生活を伝える。	○ ○ ○ ○				知：動作や頻度を開き取ったり、自分の行動を頻度を交えて伝えたりすることができる。 思：1日の生活について、まとまった話を聞いて概要をつかんだり、話す順番を考えながら伝えたりしている。 主：海外の生活について興味を持ち、知ろうとする。他者の話に対して、理解しようと努めたり、質問しようとしたりする。
7	Let's Read and Write	2種類での小文字を持つアルファベットを読みだす ・アルファベットの音読みに気づき、発音している。 主：アルファベットを単語を、相手に伝えることを考えて、発音しようとして、丁寧に書こうとしている。	○ ○ ○ ○			知：アルファベットを識別し、名前読みみや書くことができる。 思：アルファベットの音読みに気づき、発音している。 主：アルファベットを読み、アルファベットを書く。

49

## 言語材料

Unitで主に使用する語句や表現を掲載しています。

## 関連する学習指導要領における領域別目標

Unitでの学習が、学習指導要領上の4技能5領域のどの目標に関連するのかを明示しています。

## 時間

各活動の配当時間の目安です。

## 留意点

それぞれの活動でおさえておきたいことや、児童のつまずきポイント、補足説明などを掲載しています。

## CD-00

活動に使用する音声CDのトラック番号を示しています。  
※制作中のため、番号は仮のものです。

## デジ教

活動にデジタル教科書のコンテンツを使用します。

第1時 (1/7) 授業展開例		扉～Part 1 pp.30～33
* デジタル教科書（またはCD）* ピクチャーカード * 教科書の絵カード * 録音で使用する時計		
時間	児童の活動	指導者の活動・使用英語例 ○評価
<b>あいさつ</b>		
2分	・あいさつ、日付や曜日、天気などを確認する。	
5分	Small Talk	・pp.30, 31を見て、既習表現を使ったやりとりをする。 ※3.4年生で習ったhow manyやwhat colorなどを使って、児童が答えやすいうように質問する。 ※話すときはジェスチャーを交えて、児童が指示内容を理解できるようにする。
[ Small Talk 例 ] T : Open your textbook to page 30. What can you see in this picture? I can see a rabbit. Where is the rabbit? Please point (to the rabbit). S : Here. T : Thank you. A rabbit is here on the hill. What color is the rabbit? S : Brown. T : I also can see birds. How many birds are there? S : Two. T : Two? Any other answers? S : Five. T : Ok, let's count together. One, two..., three, four, five! Five birds! ・続けて Listen and Guess に入る。		
5分	Listen and Guess p.30	・④-00を開かせる。または⑤-01を見る。 音声を開いて、登場人物を見探しさせる。児童が登場人物を見つけたらもう一度音声を開かせる。 ※参加者のイラストを中心とした、英語の意味を理解し、動作の意味を知ることができるようになる。 ※3.4年生で60までの数字には触れていっている。 ※算数で使用する時計を使って、長針の動きとともにカウントさせることで、視覚的にも記憶できる。
5分	Listen and Say p.32	・④-00 + ピクチャーカード。または⑤-02を開いて表現の意味を確認する。 ※動作のジェスチャーをしながら発話させ、定着を促すよい。
10分	ゲーム	・④-01を開かせる。または⑤-03を見る。 ※ゲームはルールが少し複雑なので、日本語の説明を加えてもよい。 ※数の数え方を復習する。児童1人ずつに順に数字を数えさせ、詰まつたら他の子が助けてあげるよう促し、協力しながら学習させる。 ※ゲームはルールが少しきついものもあるので、日本語の説明を加えてもよい。 ※遊び始めたときに④-01に合わせて音符と一緒に合わせて遊ぶといい。
3分	自己評価	・④-02を開かせる。または⑤-04を見る。 ※動作の言い方を確認すると同時に、「～時～分～する」という表現に触れる。 ※p.30にKai, Taiga, Momokaもいるので、児童が見つけた場合は彼らの動作も言つてあげるとよい。 ⇒ 朱註p.31
進め方		
④-00を開かせる。または⑤-05を見る。 時刻と動作を開いて、その画面のイラストを指させ、動作の言い方を学習する。 ※go to school (学校へ行く) は「家を出る」と「学校に到着する」のどちらのどちらもできるが、ここでは「家を出る」時刻として共通認識をつかむ。		
T : How did you do today? Please color the box. ※第2時以降も同じパターンに追加して進めるので、第1時終了時にあまり餘裕がない場合でも大丈夫であるといふことを見直しに伝えておく。		

50

## 使用英文例

Small Talk例や各活動時の英語での指示例・会話例を掲載しています。

## 進め方

ゲームなどの進め方の手順を丁寧に記載しています。

## その他、指導案に掲載予定の内容

- 年間指導計画例
- 評価規準例
- Can Do List など

# Unit 3

配当時間  
7時間

## Unitの最終目標となる活動

自分の1日の生活を振り返って、伝え合う。

### ① ポイント

- ・時刻や前後関係を表す語も使い、話す順序を考えて伝える。
- ・家の仕事や生活態度についても考える。

## Unitへの導入方法

- ・イラストを見て、既習表現を使ったSmall Talkをする。

**使用表現例：**What's this?

How many birds are there?

What time is it?

How's the weather?

What color is Hana's dog? など

- ・先生が自分の生活を、イラストやジェスチャーを交えて紹介する。

- ・Listen and Guessで登場人物たちの行動を聞いて、英語の意味を考える。

- ・Listen and Guessの音声を聞いて、聞き取れたことやその意味をペアやグループで話し合い、クラスで共有する。



### スクリプト (日本語訳→p.157)

#### Listen and Guess

p.30

It's 7:00 in the morning.

Hana: Hi, I'm Hana. Find me! I sometimes walk the dog in the morning.

Riku: Hi, I'm Riku. Find me! I get up at 7:00.

Sakura: Hi, I'm Sakura. Find me! I usually water the flowers after breakfast.

p.31

It's 8:00 in the evening.

Kai: Hi, I'm Kai. Find me! I usually do my homework at 8:00.

Momoka: Hi, I'm Momoka. Find me! I feed the dog in the evening.

Taiga: Hi, I'm Taiga. Find me! I always go to bed at 8:00.



※音声にはないが、p.30にはKai, Momoka, Taiga、p.31にはHana, Riku, Sakuraもいる。  
児童の関心に応じて、その動作も言ってあげるとよい。

p.30

Kai: Hi, I'm Kai. I brush my teeth after breakfast.

Momoka: Hi, I'm Momoka. I prepare for school in the morning.

Taiga: Hi, I'm Taiga. Find me! I do radio calisthenics every day.

p.31

Hana: Hi, I'm Hana. I usually help my mother.

Riku: Hi, I'm Riku. I usually eat dinner at 8:00.

Sakura: Hi, I'm Sakura. I sometimes clean the room after dinner.

# Unit 3 第1時(1/7)

めあて 生活を表す動作や時刻の表現の仕方がわかる。

### 1 あいさつ (例→p.102)

### 2 Small Talk (例→p.102)

イラストを使って既習表現を交えたやりとりをする。

### 3 Listen and Guess CD-00

1日の生活を表す動作表現を聞いて、その意味を場面イラストから推測する。

- p.30の朝の場面イラストを見て、① Hanaについての音声を聞く。
- Hanaを探して指さす。
- 音声をもう一度聞く。
- I sometimes walk the dog. が「犬の散歩をする」という意味であることを推測する。

⑤ Riku, Sakuraも同様にする。

- 聞き取れた英語や推測した意味などをクラスで共有する。

## □ 4 Listen and Play CD-00

時刻や動作の言い方を知る。

- ・時刻 It's 6:00 now. を聞いて場面を指さす。
- ・その場面の動作 I get up at 6:00. を聞いて、「6時に起きる」という言い方に気づく。

### 留意点

- ・「どんな英語が聞こえたかな?」「どんな意味だと思う?」などたずねて、それぞれの語句を確認する。
- ・先生が起きる時間を言い、児童にもたずねるなどをして使い方に慣れる。

## □ 5 Jingle CD-00

音声のあとに続いて、リズムに乗って言う。

### 留意点

動作のジェスチャーをしながら発話して定着を促すとよい。

## □ 6 Listen and Say 1

1人ずつ順に数を数える。詰まつたら他の子が助けてあげ、協力しながら数え、1~60の数の言い方を復習する。

## □ 7 ゲーム

1から順に1人ずつ数字をカウントしていき、7のつく数字、または7の倍数のときは、数字を言わずずに“Buzz”と言う。間違った児童はゲームから外れる。1~60を数周し、残った児童が勝利。

## □ 8 自己評価

「時こくと生活の動作を示す表現を言ってみよう。」に対してどれだけきたか、バロメータを塗る。

**Part 1** Say time and daily routines.

How did you do today?  
できたかな?

This is Kai's daily routine.  
Which is he talking about?  
Point to the picture.

Kaiの1日です。  
どの場面のことを話していますか。指でさしましょう。

get up 起く  
eat breakfast 朝食を食べる  
go to school 学校へ行く  
do my homework 宿題をする  
take a bath 風呂に入る  
go to bed 寝る

**Listen and Play**

**Jingle**

**Count from 1 to 60.**

**Circle the time you hear and repeat.**

**1.** 1~60の数字を順番に言いましょう。  
1: 3:13, 2: 3:30, 3: 3:14, 4: 3:40, 5: 3:15, 6: 3:50

13と30, 14と40, 15と50は聞き分けづらいので注意する。

32 thirty-two

**Let's chant to the rhythm.**

**Chant**

リズムに合わせて言いましょう。  
あなたは何時に起きますか?

What time do you get up?  
I get up at 7:00.  
私は7時に起きます。

What time do Sakura, Riku, Momoka do each action?  
Listen and write the time.  
Sakura, Riku, Momokaは何時に何をしますか。  
時こくを書きましょう。

1. Sakura	6:15	6:30	7:45
2. Riku	3:30	4:00	8:00
3. Momoka	6:30	7:30	9:00

33 thirty-three

**スクリプト (日本語訳→p.157)**

**Listen and Play**

It's 6:00 now. I get up at 6:00.  
It's 7:50 now. I go to school at 7:50.  
It's 8:00 now. I do my homework at 8:00.  
It's 10:00 now. I go to bed at 10:00.  
It's 9:00 now. I take a bath at 9:00.  
It's 7:30 now. I eat breakfast at 7:30.

**Jingle**

get up, eat breakfast, go to school, do my homework, take a bath, go to bed

**Listen and Say**

No. 1 three thirty  
No. 2 three fourteen  
No. 3 three fifty

**スクリプト (日本語訳→p.157)**

**Chant**

What time do you get up?  
— I get up at 7:00.  
What time do you go to school?  
— I go to school at 8:00.  
What time do you eat dinner?  
— I eat dinner at 6:00.  
What time do you go to bed?  
— I go to bed at 10:00.

**Listen and Do**

No. 1 I get up at 6:15.  
I eat breakfast at 6:30.  
I go to school at 7:45.  
No. 2 I go home at 3:30.  
I do my homework at 4:00.  
I eat dinner at 8:00.  
No. 3 I eat dinner at 6:30.  
I do my homework at 7:30.  
I take a bath at 9:00.

## Unit 3 第 2 時(2/7)

めあて いつ、何をするのかを聞き取ることができる。

## □ 1 あいさつ (例→p.102)

## □ 2 Small Talk (例→p.102)

先生が自分の生活を紹介し、児童にもたずねる。

## □ 3 Listen and Guess (p.31) CD-00

1日の生活を表す動作表現を聞いて、その意味を場面イラストから推測する。

- ・p.31の夜の場面イラストの中からKai, Momoka, Taigaを探し、その動作を英語で聞く。
- ・聞き取れた英語や推測した意味などをクラスで共有する。

## □ 4 ゲーム

第1時の7と同じ活動をする。

## □ 5 Listen and Say 2 CD-00

紛らわしい時刻を聞き分ける。

- 6 Listen and Do CD-00
- 登場人物の話から動作と時刻を聞き取る。

- 7 Chant CD-00
- 音声を聞いてまねをする。
- ・音声を繰り返し聞く。
  - ・徐々に音声に乗って発話してみる。

- 8 ワークシート 3-1
- グループで、起きる時刻と寝る時刻をたずね合い、一番早く起きる人、一番早く寝る人を探す。

## □ 9 自己評価

第1時で塗ったものに更に塗り足す。



## Unit 3 第5時(5/7)

めあて 1日の生活について、まとまつた話の概要を聞き取ることができる。

### □ 1 あいさつ (例→p.102)

### □ 2 Small Talk (例→p.102)

先生の放課後の過ごし方を紹介し、児童にもたずねる。

### □ 3 Listen and Do CD-00

外国の子どもたちの話を聞いて、時刻や頻度を聞き取る。

- イラストからそれぞれの生活を推測し、クラスで共有する。
- 音声を聞く。

### □ 4 Chant CD-00

音声を聞いてまねをする。

- 音声を繰り返し聞く。
- 徐々に音声に乗って発話してみる。
- 先生が、リズムに乗せていろいろな放課後の過ごし方を例示する。

### □ 5 ワークシート (3-4)

自分が紹介したい放課後の過ごし方を2つ考えて書く。

→ワークシートは回収し、次の時間に児童が挙げた内容を英語でどう言うか教えてあげられるようにする。

### □ 6 自己評価

「自分の日課を伝えよう。」に対してどれだけできたか、パロメータを塗る。

**Part 3**

**Tell about your daily routine.**  
自分の日課を伝えよう。

**Activity**

**Students in other countries introduce their daily routines.**  
**Write the time and color the circles.**

外国の子どもたちが、学校に行く日の日課をしょうかいしています。時こくを書いて、○○○をぬりましょう。

**1. Listen and Do**

Ryan (Singapore)  
6:30 7:00 9:50 1:00

Amana (Kenya)  
5:30 6:30 4:00

**Let's chant to the rhythm.**  
リズムに合わせて言いましょう。

After school I eat lunch.  
Then I play with my friends.

放課後私は昼食を食べます。  
その後友だちと遊びます。

36 thirty-six

**Activity**

**Fill in the blanks about your daily routine.**  
Then introduce them to your classmates.

1. 学校に行く日の日課を図に表して、友だちや先生にしょうかいしましょう。

6:00 12:00 6:00

You can use "after" instead of time.  
For example, "after school."

時こくのかわりに  
「～のあとで(after ~)」などを  
使ってもいいね。

何曜日の日課なのかも  
言ってみよう。

always 毎回  
usually たいてい  
sometimes ときどき  
never まったくしない

Listen to your classmate's presentation.  
Write what he or she does after school.

2. 友だちの発表を聞いて、放課後の過ごし方を書きましょう。

名前	放課後にすること①	放課後にすること②	放課後にすること③
your classmate's name	what he or she does after school		

37 thirty-seven

## Unit 3 第6時(6/7)

めあて 自分の1日の生活を伝えることができる。

### □ 1 あいさつ (例→p.102)

### Activity

### □ 2 Small Talk (例→p.102)

先生の質問に答えながらActivityの絵表を埋めていく。

### □ 3 Chant (p.33,34,36) CD-00

動作や時刻、頻度の言い方を復習する。

### □ 4 Chant (p.36) CD-00

第5時で児童がワークシートに書いた放課後の過ごし方をChantに乗せて紹介する。

### Activity

### □ 5 ワークシート (3-5)

4~5人のグループ内で、1日の生活を発表し合う。

### □ 6 自己評価

第5時で塗ったものに更に塗り足す。

### スクリプト (日本語訳→p.157)

#### Listen and Do

No. 1

Hi. I'm Ryan. I live in Singapore. I always get up at 6:30. I go to school at 7:00. I eat snack at 9:50. I usually eat fruits and nuts. I go home at 1:00. I eat lunch at home. After school I usually play with my friends.

No. 2

Hi. I'm Amana. I live in Kenya. I get up at 5:30. I go to school at 6:30. I go home at 4:00. After school I always help my mother. I do my homework after dinner.

#### Chant

After school I eat lunch.  
Then I play with my friends.

After school I help my mother.  
Then I do my homework.

## □ 7 Looking Back

Unit学習後に、何ができるようになったか自己評価する。

- 1～3の質問には、児童がそれぞれ回答を英語で口にしてみて、言えたら「✓(チェックマーク)」をなぞる。
- 1～3の質問は、パフォーマンステストに使うこともでき、「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」をはかることができる。
- 4～5の質問には、児童が日本語で書いて答える。これらの問いは、評価の観点の1つである「主体的に学習に取り組む態度」をはかる手がかりにもなる。
- 4については、適宜児童にフィードバックし、学習への意欲を高める。

### □ おまけ Did you know?

- ①外国の小学生の昼食事情に触れ、文化の違いを知る。
- ②グループごとに1つの国の昼食事情を調査し、発表する。

※この場合、グループ活動を第7時とし、次ページの Let's Read and Write は第1時から第5時または第6時の中で単学習として少しづつ学習するとよい。



### Unit 3 の学習をふり返りましょう。

できたら  
チェックマークを  
書こう!

- 起きる時こくやねる時こくを言えるかな。  
Can you say what time you get up and what time you go to bed?
- ふだん自分が家でどんな仕事をどのくらいしているか  
言えるかな。  
Can you say what chores you do and how often you do them?
- 放課後にすることを伝えられるかな。  
Can you say what you do after school?
- Unit 3 の学習中に「言いたいけど言えなかった」ことや、「もっと知りたい」と思ったことを書いてみよう。  
Write something you wanted to say but couldn't.  
Write something you want to know more about.
- Unit 3で学習した英語をどんな場面で使いたいか書いてみよう。  
In what situation do you want to use the expressions you've learned in this unit?

### Did you know?

Japan



日本の昼食：日本の給食のように、同じものをいっしょに教室で食べることは、外で食べます。

Lunch time in Japan: It's unusual in other countries that the students eat the same lunch with all classmates together in the classroom.

the USA



アメリカの昼食：お弁当を持ち来たり、カフェテリアで食べたりします。

Lunch time in the USA: Students bring their lunch from home or eat lunch in the school cafeteria during their long lunch breaks.

France



フランスの昼食：長い昼休みの間に家に帰って食べたり、カフェテリアで食べたりします。

Lunch time in France: Students go home for lunch or eat in the school cafeteria during their long lunch breaks.

小学校での昼食は国や地域によってさまざまです。

## Let's Read and Write 3

ABCDEFHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

Let's listen and write the alphabet.

アルファベットを聞いて、書いてみましょう。

When you finish writing, say them.

書き終わったら読みでみよう。

2階建ての小文字を書いてみよう。

Let's write two-storyed letters.

5

Friday

hand

home

kind

king

lemon

lunch

table

time

手

家

親切な

王

レモン

昼食

テーブル

時間

39

### 文字指導をするときの注意点

#### 読み

- ★文字を書く前に、アルファベットの形、読み方を十分認識させる。
- ★読み方に關しては、ここでは名前読みを中心に指導するが、音声に統けて音読みや単語をまねる際は以下のように発音させるとよい。

f [f] …上の前歯を軽く下唇に当てて、「フッ」と息を出す。

h [h] …「ハ」という無聲音を短く出す。

k [k] …「クッ」と、のどの奥で破裂音を出す。

l [l] …舌先を上の歯の裏に付けて「ル」と言う。

t [t] …舌先を歯の裏に付けて「トゥッ」と破裂させる。

※どの音も子音なので母音を言わないよう注意する。

#### 書き

- ★小文字の形が2階建て（中2階建て）のアルファベットを学ぶ。
- 上3線の間にきちんと文字が書けるように指導する。特にfとtは高さでしっかり区別して教えないとい、間違って書く児童がでてくるので注意する。

★アルファベットの書き方を示しているが、あくまで一例であり、アルファベットには決まった書き順はない。紙面や動画の書き順に固執せず、児童が書きやすいように柔軟に指導する。

★機械的に練習作業として書かせるよりは、先生が名前読みした音、または発音した単語の一部を書かせるクイズ形式にするなどして、児童の書く意欲を高めつつ、文字と音を結び付けながら指導するのがよい。

## Unit 3 第7時(7/7)

めあて 小文字の形が2階建て（中2階建て）のアルファベットを名前読みできるようになる。書き写すことができるようになる。

### □ 1 アルファベットの形を識別する

- 指導者が提示した文字と同じ文字を絵カードの中から探し出す。

### □ 2 アルファベットを発音する

- デジタル教科書の動画を見て、
  - 音声に統けて文字を読む。
  - アルファベットの書き方に注目しながらもう一度動画を見て、空中にアルファベットを書く。

### □ 3 アルファベットを4線上に書く

- 指導者が発音した文字または単語をなぞる。

※書く活動は宿題にすることもできる。

# I sometimes walk the dog.

1日の生活

▶ pp.30~39

## 単元目標

- 1日の生活を表す動作や時刻を言ったり、聞き取ったり、たずねたりすることができる。  
また、2階建ての小文字を持つアルファベットを読んだり書いたりすることができる。
- 1日の生活に関するまとまった話を聞いてその概要を理解したり、自分の1日の生活について話したりする。
- 1日の生活について他者と伝え合い、その内容について共感したり質問したりしながら会話を続けようとする。また、外国の生活について興味を持ち、知ろうとする。

## 単元設定の理由

1日の生活の表現は、普段の生活においてあまり伝え合うことのない話題だが、海外の生活など異文化に触れる際には、その説明の中でよく用いられるので、ぜひ知っておきたい。また、本題材を扱うことで学べる基本的な動詞やその使い方は、英語学習の基礎を築くためにとても重要であり、更には6年生で過去の表現を扱う際の土台にもなるため、5年生の早い段階で学習できるようにした。

本題材は、家庭科や道徳とも関連させており、生活習慣や家の仕事をどのくらいしているかなど、自分の生活や行動を見直すきっかけとなることもねらいとしている。

ここでは頻度の言い方も学習する。頻度の表現は難しいが、抽象的な表現の感覚を身につけたり、文中での頻度の副詞の位置を何となく理解したりすることで、中学校で改めて文法学習をした際にスムーズに理解が進むようにしたい。

## 言語材料

1日の生活を表す表現(get up, eat breakfast, go to school, do my homework, take a bath, go to bed), 時刻, 家での仕事を表す表現(clean my room, set the table, water the flowers, wash the dishes, take out the garbage, get the newspaper), 頻度(always, usually, sometimes, never)

What time do you (get up)? – I (get up) at (7:00).

I (always walk the dog).

After school I (eat lunch). Then I (play with my friend).

## 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようになる。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようになる。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようになる。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようになる。

## 単元計画

時	Part	目標と主な活動	扱う技能					評価規準例
			聞く	話す(発表)	話す(やりとり)	読む	書く	
1,2	扉～1	<b>生活を表す動作や時刻を聞き取ったり言ったりすることができる。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の生活を表す英語を聞いて意味を考える。</li> <li>・1～60の言い方を復習し、時刻を聞き取る。</li> <li>・動作と時刻を聞き取る。</li> <li>・起きる時刻や寝る時刻などをたずね合う。</li> </ul>	◎	○	○			知：動作や時刻を聞き取り、「いつ、何をするのか」を理解できている。 思：イラストなどを見ながら他者の1日の生活を聞いて、内容を推測しながら概要をつかんでいる。 主：Small Talk やペアワークなどの際に、積極的に会話したり質問し合ったりしながら、相手の生活について理解しようとしている。
3,4	2	<b>家でどんな仕事をどのくらいしているか伝えることができる。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家の仕事を表す英語を聞いて、知っている単語から意味を推測する。</li> <li>・頻度の感覚を身につける。</li> <li>・動作や頻度を聞き取る。</li> <li>・家の仕事を振り返り、伝え合う。</li> </ul>	○	○	○			知：動作や頻度を聞いて理解している。 思：自分が家でどんな仕事をどのくらいしているか伝えている。 主：他者の話を聞いて共感したり、伝え方についてよいところは見習おうとしたりしている。
5,6	3	<b>自分の日課を伝えることができる。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の生活について聞き、概要をとらえる。</li> <li>・動作の頻度や時刻を聞き取る。</li> <li>・1日の生活を伝える。</li> </ul>	○	○	○			知：動作や頻度を聞き取ったり、自分の行動を頻度を交えて伝えたりすることができている。 思：1日の生活について、まとまった話を聞いて概要をつかんだり、話す順番を考えながら伝えたりしている。 主：海外の生活について興味を持ち、知ろうとする。他者の話に対して、理解しようと努めたり、質問しようとしたりする。
7	Let's Read and Write	<b>2階建ての小文字を持つアルファベットを読んだり書いたりすることができる。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの形を識別する。</li> <li>・アルファベットを読む。</li> <li>・アルファベットを書く。</li> </ul>	○			◎	◎	知：アルファベットを識別し、名前読みや書くことができている。 思：アルファベットの音読みに気づき、発音している。 主：アルファベットや単語を、相手に伝えることを考えて、発音しようとし、丁寧に書こうとしている。

授業展開例

- 準備物**
- デジタル教科書（またはCD）
  - ピクチャーカード
  - 教科書の絵カード
  - 算数で使用する時計

時間	児童の活動	指導者の活動・使用英語例 ◎評価	留意点
2分	<b>あいさつ</b>	・あいさつ、日付や曜日、天気などを確認する。	
5分	<b>Small Talk</b>	・pp.30, 31を見て、既習表現を使ったやりとりをする。  [ Small Talk 例 ] T: Open your textbook to page 30. What can you see in this picture? I can see a rabbit. Where is the rabbit? Please point (to the rabbit). S: Here. T: Thank you. A rabbit is here on the hill. What color is the rabbit? S: Brown. T: I also can see birds. How many birds are there? S: Two. T: Two? Any other answers? S: Five. T: Ok, let's count together. One, two..., three, four, five! Five birds!	※3,4年生で習ったhow manyやwhat colorなどを使って、児童が答えやすいように質問する。 ※話すときはジェスチャーを交えて、児童が指示内容を理解できるようにする。
		・続けて <b>Listen and Guess</b> に入る。	
5分	<b>Listen and Guess</b> p.30 朝の場面イラストの中から Hana, Riku, Sakuraを探して、その動作を聞く。	・CD-00 を聞かせる、またはデジ教を見せる。 音声を聞いて、登場人物を児童に探させる。児童が登場人物を見つけたらもう一度音声を聞かせる。  T : It's 7:00 in the morning. Where are Hana, Riku, Sakura? Let's find them!  ・聞き取れた英語やその意味などをペアやグループで話し合い、クラスで共有する。	※登場人物のイラストを手がかりに、英語の意味を推測し、動作の言い方を知ることができるように、児童の反応を見ながら指導する。 ※p.30にはKai, Taiga, Momokaもいるので、児童が見つけた場合は彼らの動作も言ってあげるとよい。 ⇒ 朱註p.31
10分	<b>Listen and Play</b> p.32 時刻と動作を聞いて、その場面のイラストを指さし、動作の言い方を学習する。 (指でさす代わりに教科書の絵カードを挙げるのもよい。)	・CD-00 を聞かせる、またはデジ教を見せる。 It's 6:00 now. で一度音声を止め、数字を頼りに場面を探させる。児童がその時刻の場面を指さしたら、続きの音声I get up at 6:00.を流し、それぞれの動作の言い方に触れさせる。  T : Turn to page 32. Listen carefully and point to the picture.	※動作の言い方を確認すると同時に、「～時に…する」という表現に触れる。 ※go to school (学校へ行く) は「家を出る」と「学校に到着する」のどちらのとらえ方もできるが、ここでは「家を出る」時点として共通認識をはかる。

		・それぞれの場面に対して、「この絵についてどんな英語が聞こえたかな?」「どんな意味だと思う?」などとたずねて、動作表現を確認する。 ・先生が起きる時間を言い、児童にもたずねる。	
		T : I get up at 6:00. How about you? What time do you get up?	
		◎英語とイラストを結び付けて意味を推測している。	
5分	<b>Jingle</b> p.32	音声を聞き、動作の表現をリズムに乗って言う。	※動作のジェスチャーをしながら発話させ、定着を促すとよい。
5分	<b>Listen and Say</b> 1 p.32 1~60の数を数える。	T : Do you remember how to count in English? Let's count!  ・数の数え方を復習する。児童1人ずつに順に数を数えさせ、詰まったら他の子が助けてあげよう促し、協力しながら学習させる。	※4年生までに60までの数字には触れている。 ※算数で使用する時計を使って、長針の動きとともにカウントさせると、視覚的にも記憶できる。
10分	<b>ゲーム</b>	<b>進め方</b> 1から順に1人ずつ数字をカウントしていく、7のつく数字、または7の倍数のときは、数字を言わずに“Buzz”と言う。間違った児童はゲームから外れていく。  T : Count from (児童の名前)! Let's start!	※ゲームはルールが少し複雑なので、日本語の説明を加えてもよい。 ※慣れてきたら、デジ教のリズムに合わせて言つてみるとよい。
3分	<b>自己評価</b>	T : How did you do today? Please color the box.	※第2時以降も同じパロメータに追加して塗るので、第1時終了時にあまり塗れなくても大丈夫であるということを児童に伝えておく。

時間	児童の活動	指導者の活動・使用英語例 ◎評価	留意点
2分	あいさつ	・あいさつ、日付や曜日、天気などを確認する。	
5分	Small Talk [ Small Talk例① ] T: It's Monday, today. Every Monday, I get up at 5:00, because I go running. I eat breakfast at 7:00. Then I go to school at 8:00. Do you understand? What time do I get up? S: 5:00 T: Yes. I get up at 5:00. (児童の名前), what time do you get up every morning? S: 7:00. T: You get up at 7:00. That's good time to get up. (児童の名前), what time do you get up? S: 8:00. T: You get up at 8:00? I think it's too late.  [ Small Talk例② ] T: It's Thursday today. On Thursday, I usually go home at 7:00 and eat dinner. Then I watch TV. After that I take a bath. I go to bed at 10:00. (児童の名前), what time do you go to bed? S: 9:00. T: You go to bed at 9:00? That's good. What time do you get up? S: 7:00. T: You go to bed at 9:00 and get up at 7:00. You sleep for 10 hours. You sleep long time.	※前時の復習ができる Small Talkを行う。 ※児童の理解度を確認しながら、進める。	
5分	Listen and Guess p.31 夜の場面イラストの中から Kai, Momoka, Taigaを探して、その行動を聞く。  T : Open your textbook to page 31. Look at the picture on page 31. It's 8:00 in the evening. Where are Kai, Momoka and Taiga? Let's find them!  ・聞き取れた英語やその意味などをペアやグループで話し合い、クラスで共有する。	・CD-00を聞かせる、またはデジ教を見る。 Hi, I'm Kai. Find me.で止める。児童が登場人物を見つけたらもう一度音声を聞かせる。  ⇒ 朱註p.31	※p.31にはHana, Riku, Sakuraもいるので、児童が見つけた場合は彼らの動作も言ってあげるとよい。
5分	ゲーム	・第1時と同じゲームで、数字の言い方を確認する。	

	進め方 1から順に1人ずつ数字をカウントしていく、7のつく数字、または7の倍数のときは、数字を言わずに“Buzz”と言う。間違った児童はゲームから外れていく。	T : Count from (児童の名前)! Let's start!	
5分	Listen and Say ② p.32 時刻をたずねる会話を聞いて、聞こえたほうの時刻に○を付ける。	・CD-00またはデジ教で、時刻を聞き取れるか確認する。児童にどちらの時刻が聞こえたか手を挙げさせ、理解度をはかる。  T : Listen to the time. What time is it?  ◎数字を聞き取ることができている。	※13と30などの紛らわしい数字を児童が聞き分けられているかに注目する。
8分	Listen and Do p.33 登場人物の話を聞いて、時刻を書く。	・CD-00の音声を聞かせる、またはデジ教を見せる。  T : Listen and write the time.  ・答え合わせをするときは、児童を当てて、時刻を英語で言わせる。  T : What time does Hana get up? S : (Hana gets up at) 6:15.  ◎動作と時刻を聞き取ることができている。	※答えを完全な文で言わせると、3単現のsが必要になるので、時刻だけよい。 ※時刻が聞き取れていても言えない場合は、“What's 6時15分 in English?”のように質問するよう児童に促すとよい。
5分	Chant p.33 音声をまねして、発話してみる。	・CD-00を聞かせる、またはデジ教を見せる。 ①まずは音声を繰り返し聞かせる。 ②徐々に音声に乗って発話させてみる。  T : Let's listen to the chant! And let's try!	※次の活動に必要となるので、十分慣れさせる。 ※音声を聞く際には文字を指で追わせると読む活動にもつながる。
8分	ワークシート ③-2 進め方 ①ワークシートに自分の起きる時刻と寝る時刻を書き入れる。 ②5~6人のグループになり、その中で一番早く起きる人と、一番早く寝る人を探す。 T : Ask each other, “What time do you get up?” and “What time do you go to bed?” Find the person who gets up earliest. Find the person who goes to bed earliest.  ◎会話の中で、相手の情報を聞き取ろうとしている。	・起きる時刻や寝る時刻をたずね合わせる。  T : Write your routine. What time do you get up? What time do you go to bed? Write the times.  T : Ask each other, “What time do you get up?” and “What time do you go to bed?” Find the person who gets up earliest. Find the person who goes to bed earliest.	※児童同士でたずね合わせる前に、活動の手本を見せる。⇒デジ教
2分	自己評価 Partの目標である「時こくと生活の動作を示す表現を言ってみよう。」に対してどれだけできたか、パロメータを塗って自己評価する。	T : How did you do today? Please color the box.	※第1時で塗ったものに更に塗り足すことで、前よりできるようになったという達成感を児童に与えられるとよい。

時間	児童の活動	指導者の活動・使用英語例 ◎評価	留意点
2分	<b>あいさつ</b>	・あいさつ、日付や曜日、天気などを確認する。	
5分	<b>Small Talk</b>	・先生の家の仕事を紹介する。  T : Do you help at home? I sometimes make dinner. I always set the table. I always wash the dishes. And I sometimes clean my room. I usually water the flowers. (児童の名前), do you clean your room? S : Yes. T : Great!	※家での仕事の表現は初めて触れるものが多いので、ピクチャーカードや、先生自身がその行動をしている写真などを示しながら話す。 ※頻度の表現も入るが、現時点では説明などはしない。 ※最近は食器洗い乾燥機を使う場合も多いので、その場合はdo the dishesで表す。児童の仕事としては洗浄後の片付け(empty the dishes)の場合が多い。
15分	<b>Listen and Do ①</b> p.34 音声を聞いて、だれが家でどんな仕事をしているか線で結ぶ。	・ <b>CD-00</b> を聞かせる、または <b>デジ教</b> を見る。 家での仕事の表現に集中して聞かせる。 長いので、1人ずつ止めて確認しながら進めてよい。  T : Look at page 34. Hana, Jimmy, Riku, Momoka, and Mr. Smith work at home. What do they do at home? Listen and draw lines.	※第3者について話すことはまだできないので、答え合わせで児童を当てる際は、児童に登場人物になりきって答えてもらうか、 <b>デジ教</b> で解答を示し、自分で答え合わせをさせる。
5分	<b>Jingle</b> p.34 家での仕事を表す英語を聞いて意味を理解する。	・聞き取れた英語やその意味などをペアやグループで話し合い、クラスで共有する。  ◎知っている単語とイラストから英語の意味を推測している。	

10分	<b>ワークシート 3-2</b>	・児童に頻度の感覚を身につけさせる。  <b>進め方</b> ・ワークシートを見て、それぞれが週に何日犬の散歩に行くか数え、日数を書く。  T : Look at the sheet. How many days do they walk the dog in a week?	※頻度は抽象的であり、視覚的に表すことが難しいため、いろいろな場面の会話を聞いて、感覚的に理解させる。ワークシートや教科書の「○○○」は、頻度を認識させるための必要最小限の手がかりとして載せている。 ※alwaysはほぼ100%、usuallyは約60~80%、sometimesは約20~30%、neverは0%の感覚で使用される。ここでは always > usually > sometimes > never = 0という程度の感覚が身につけられるとよい。
5分	<b>Chant</b> p.34	音声をまねして、発話してみる。  T : Let's listen to the chant! And let's try!	・ <b>CD-00</b> を聞かせる、または <b>デジ教</b> を見せる。 ①まずは音声を繰り返し聞かせる。 ②徐々に音声に乗って発話させてみる。
3分	<b>自己評価</b>	T : How did you do today? Please color the box.	※第3時では自分のことについて実際に言うところまでは至っていないが、今回学習したことを使って言えるかどうか自己判断させる。

時間	児童の活動	指導者の活動・使用英語例 ◎評価	留意点
2分	<b>あいさつ</b>	・あいさつ、日付や曜日、天気などを確認する。	
5分	<b>Small Talk</b>	・児童に、家での仕事や頻度についてたずねる。  [ Small Talk例 ] T: (児童の名前), do you help at home? S: Yes. T: Do you set the table? S: Yes. Y: Is it always? Usually? Sometimes? S: Usually. T: You usually set the table. That's good.	※ピクチャーカードを見せながら、何をたずねているのかわかるようにする。
5分	<b>Chant</b> p.34 頻度の表現の復習をし、発話練習をする。	・CD-00を聞かせる、またはデジ教を見る。 ①まずは音声を繰り返し聞かせる。 ②徐々に音声に乗って発話させてみる。  T : Let's listen to the chant! And let's try!	
5分	<b>Listen and Do ②</b> p.35 会話を聞いて、それぞれがゴミ出しをどのくらいの頻度でしているか「○○○」を塗る。	・CD-00を聞かせる、またはデジ教を見る。 ・頻度を中心に聞き取りをさせる。  T : Listen carefully. How often do they take out the garbage? Always? Usually? Sometimes? Never?  ・デジ教で答え合わせをする。  ◎頻度を表す語を聞き取ることができている。	※「always = 毎日」ではないことに注意する。ゴミ出しの機会は週に数回であり、それを毎回すれば、毎日でなくともalwaysを使う。
5分	<b>Jingle</b> p.34 家での仕事を伝えるための練習をする。	次のThink and Sayの準備として、家での仕事の表現の定着を促す。	
10分	<b>Think and Say</b> p.35 ・自分の家の仕事について振り返り、それぞれのことをどのくらいしているか「○○○」を塗る。 ・「自分が何をどのくらいしている」かをどのように言うか考える。	・児童に問い合わせながら、家での仕事についてのアンケートに回答させる。  T : Look at No.1. What does she do? S : Set the table. T : She sets the table. OK. Think about yourselves. Do you set the table at home? Color the circles.	

		・ATLに質問し、回答の例示をしてもらう。  T1 : Do you help at home? T2 : Yes, I do. I always water the flowers. (T1 : Do you like flowers? T2 : Yes, I love flowers.)  ・児童何人かを当てて質問する。	※次のペアワークの見本となるようにする。
10分	<b>ワークシート ③-3</b>	・家でどんな仕事をしているかたずね合う。  進め方 ③~4人のグループを作って、Think and Sayのアンケートとともに、家での仕事をたずね合う。  T : Ask each other. Ask your partner, "Do you help at home?" S1 : Do you help at home? S2 : Yes I do. I always set the table. I never wash the dishes...  ・聞いた内容をワークシートにメモする。 ・グループ内でたずね合った後、友だちの家の仕事の中で、感心したことや、見習いたいと思ったことを書き、クラスで共有する。	※児童同士でたずね合わせる前に、活動の手本を見せる。 ⇒デジ教 ※授業の実態に応じて、3つ程度に絞ってたずね合うのもよい。 ※教科書に記載されていない仕事は日本語で言ってもらい、友だちが家で行っているいろいろな仕事を共有できるとよい。
		◎自分の家の仕事を伝えている。 ◎他者の家の仕事やその頻度を聞き取ることができている。 ◎他者の話を聞いて、共感したり、よいところは見習おうとしたりしている。	
3分	<b>自己評価</b>	T : How did you do today? Please color the box.	※第3時で塗ったものに更に塗り足すことで、前よりできるようになったという達成感を児童に与えられるとよい。

授業展開例

準備物 ●デジタル教科書(またはCD) ●ピクチャーカード ●ワークシート

時間	児童の活動	指導者の活動・使用英語例 ◎評価	留意点
2分	<b>あいさつ</b>	・あいさつ、日付や曜日、天気、時刻などを確認する。	
10分	<b>Small Talk</b> [ Small Talk例 ] T: What do you do after school? After school I always walk the dog. I eat dinner at 8:00. Then I take a bath. I usually go to bed at 11:00. (児童の名前), after school, do you play soccer? S: Yes. T: That's good. Do you study after school? S: Yes. T: Wonderful.	・先生の放課後の過ごし方を紹介する。  ※先生の放課後の過ごし方を、絵や表を見せながら紹介する。  ※児童がYesやNoで答えられる質問をする。	
15分	<b>Listen and Do</b> p.36 ・イラストを見て、シンガポールのRyanとケニアのAmanaの1日の生活を推測する。 ・音声を聞いて、それぞれの動作の時刻や頻度を聞き取る。	・イラストからRyanの1日の生活を推測させる。  T: Now, let's listen about the daily routines of students in other countries. He is Ryan. He is in Singapore. What does he do every day?  ・児童が推測した内容をクラスで共有する。 ・CD-00を聞かせる、またはデジ教を見せる。 ・Amanaの1日の行動についても同様にする。  T: She is Amana. She is in Kenya. What does she do every day?  ◎まとめた話を聞いて、概要をとらえている。 ◎海外の生活について知ろうとする。	※時間軸にそって話していることを意識させられるとよい。
5分	<b>Chant</b> p.36 ・音声をまねして、発話してみる。	・CD-00を聞かせる、またはデジ教を見せる。 ①まずは音声を繰り返し聞かせる。 ②徐々に音声に乗って発話させてみる。  T: Let's listen to the chant! And let's try!	
5分	・先生が示す例を繰り返して言う。	・Chantの表現を使って、いろいろな放課後の過ごし方を例示する。  T: After school I do my homework. Then I watch TV.	※放課後の過ごし方は次ページのWord Box参照。

5分	<b>ワークシート</b> 3-4 自分が紹介したい放課後の過ごし方を2つ考えて書く。	T : Write what you do after school. Do you do your homework? Do you go to juku? Do you help your mother? Do you play with your friend?	※ワークシートは回収し、次の時間までに児童が挙げた内容を英語で言えるよう調べておく。
3分	<b>自己評価</b> Partの目標である「自分の日課を伝えよう。」に対してどれだけできただか、パロメータを塗つて自己評価する。	T : How did you do today? Please color the box.	

**Word Box**

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| ・ do my homework        | 宿題をする                   |
| ・ watch TV              | テレビを見る                  |
| ・ walk the dog          | 犬の散歩に行く                 |
| ・ eat a snack           | おやつを食べる                 |
| ・ go to juku            | 塾に行く                    |
| ・ go to swimming school | 水泳教室に行く                 |
| ・ talk with my family   | 家族と話す                   |
| ・ draw a picture        | 絵を描く                    |
| ・ play mobile game      | (持ち運びできるタイプの機器で) ゲームをする |

時間	児童の活動	指導者の活動・使用英語例 ◎評価	留意点
2分	<b>あいさつ</b>	・あいさつ、日付や曜日、天気、時刻などを確認する。	
10分	<b>Activity</b> p.37 <b>Small Talk</b> 先生の問い合わせに答える形で、 <b>Activity</b> の絵表を完成させる。  [ Small Talk 例 ] T : Open your textbook to page 37. (児童の名前), what time do you get up? S : I get up at 6:00. T : You get up early. (3人くらいの児童にたずねる。) OK, everybody, write the time you get up. Then (児童の名前), what time do you go to school? S : I go to school at 8:00 T : Write the time you go to school. (児童の名前), what time do you go home? S : I usually go home at 4:00. T : What do you do after school? S : I play a computer game. T : Write here the time when you go home. And write here what you do after school.	・児童に、 <b>Activity</b> の絵表を埋める問い合わせをする。 ※先生の質問に対してどこに何を書くかを明確に指示する。	
5分	<b>Chant</b> pp.33, 34, 36 動作や時刻、頻度の言い方を復習する。	・ <b>CD-00</b> または <b>デジ教</b> で pp.33, 34, 36 の <b>Chant</b> を視聴し、既習表現を復習させる。  Let's listen to the chant and remember.	
5分	<b>Chant</b> p.36 いろいろな放課後の過ごし方を聞く。	・前時間に児童がワークシートに書いた放課後の過ごし方を紹介する。 ・児童が言いたい放課後の過ごし方を Chant (カラオケ) に乗せて言う。	
15分	<b>Activity</b> p.37 ワークシート  <b>進め方</b> 4~5人のグループを作り、グループ内で1日の過ごし方を発表する。  T : Introduce your daily routine to each other. Write what your friends do after school.		※児童同士でたずね合わせる前に、活動の手本を見せる。 ⇒ <b>デジ教</b>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後の過ごし方を聞き取り、ワークシートにメモする。</li> <li>友だちの放課後の過ごし方の中で、まねしてみたいと思ったことを紹介する。</li> </ul> <p>◎自分の1日の生活を、頻度を交えたり、話す順番を考えたりしながら伝えている。 ◎他者の話を理解しようと努めている。</p>	※ここでは児童によつて多様な意見が出る部分を聞き取るようにしたが、授業の実態に応じて、起きる時刻や学校へ行く時刻などもメモさせるとよい。 ※友だちの放課後の過ごし方を紹介するときは日本語で行う。
8分	<p><b>自己評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Partの目標である「自分の日課を伝えよう。」に対してどれだけできただか、バロメータを塗って自己評価する。</li> <li><b>Looking Back</b> のそれぞれの質問に対して、答える。</li> </ul> <p>T : How did you do today? Please color the box.</p>	※第5時で塗ったものに更に塗り足すことで、前よりできるようになったという達成感を児童に与えられるとよい。  ※ここでは自己評価を行なうが、 <b>Looking Back</b> 1~3を使って改めて先生がパフォーマンステストを行うのもよい。

Let's Read and Write 1~5では、アルファベットの書き方を中心に、名前読み、音読みを学習する。アルファベットの読み書きは、大文字と小文字を同時に学習し、同じ読み方をする文字であることを意識づける。学習するまでは、児童にとって認識しづらいとされる小文字に注目し、「大文字と同じ形」、「4線上での高さ」で分類した。学習順は「大文字と同じ形」→「1階建て」→「2階建て(中2階建て)」→「地下1階つき」→「いろいろな形のミックス」とし、児童にとって易しい順に設定した。

今回学習するのは、小文字が2階建て(中2階建て)のアルファベット。他にもb, d, iがあるが、一度に学習する文字を5~6個におさえたことと、b, dは間違いやすいためいっしょに教えるほうがよいことから、上記3つは別で扱うこととした。

13分	<b>書く活動</b> 先生が名前読みした音、または発音した単語の一部をなぞり書きする。	アルファベットの名前読みまたは単語を発音し、どのアルファベットまたは単語かを紙面から探させて、書かせる。 クイズ形式とし、最後に先生が発音しなかった文字や単語を児童に質問する。 ◎アルファベットを4線上に正しく書くことができている。
		※書く目的は、先生がどの文字を読み、どの文字を読んでいないかを判別するためのメモを取ること。

## Did you know?

▶ p.38

時間	児童の活動	指導者の活動・使用英語例 ◎評価	留意点
2分	<b>あいさつ</b>	あいさつ、日付や曜日、天気などを確認する。	
5分	<b>文字の形の認識</b> 先生が示した文字と同じ文字を絵カードの中から探し、カードを擧げる。	デジ教 またはカード等で、今回学習する文字(F, f, H, h, K, k, L, l, T, t)のどれか1つを児童に見せて、自分の絵カードの中から探し、カードを擧げる。 ◎アルファベットを識別できている。	
5分	<b>F, fの学習</b> 名前読み、書き方、fから始まる単語の読み方を知る。	先ず、デジ教の動画を2回ほど見せる。 1回目は名前読みと音読みを音声に続けて発音させる。 2回目は動画をまねて、指で空中に文字を書かせる。	※それぞれの音の出し方は、明示的に教えた方が効果的に指導できる場合に示す。 ⇒ 朱註p.39
5分	<b>H, hの学習</b> 名前読み、書き方、hから始まる単語の読み方を知る。	◎アルファベットの名前読みや音読みを発音している。	※動画にはアルファベットの書き方を示しているが、あくまで一例であり、アルファベットに書き順はない。児童が書きやすいよう柔軟に指導する。
5分	<b>K, kの学習</b> 名前読み、書き方、kから始まる単語の読み方を知る。		
5分	<b>L, lの学習</b> 名前読み、書き方、lから始まる単語の読み方を知る。		
5分	<b>T, tの学習</b> 名前読み、書き方、tから始まる単語の読み方を知る。		

## 解説

今回は、Unit 3の1日の生活という題材に関連して、他国の昼食事情に触れている。

日本的小学校では、給食指導もあり、教室でみんなで同じ時間に昼食をとるので、それが当たり前と思っている児童は少なくない。しかしながら、国や地域が違えば昼食のとり方もさまざまである。ここでは他の国や地域での昼食事情に触れ、異文化への気づきを促す。

アメリカでは、昼食はお弁当を持って行くか、カフェテリアで買って食べる。

お弁当の内容は、ハムやジャムなどのサンドイッチ、クラッカー、チーズ、果物など簡単に準備できるものが多く、保護者または児童自身が準備し、持っていく。お弁当はカフェテリアや屋外のテーブルなどで友だちといっしょに食べる。

カフェテリアで買う場合は、サンドイッチやパスタ、サラダなどの野菜、果物などがある。全児童がカフェテリアで食べる学校もあるが、その場合グループごとにランチタイムが分けられていたりする。

フランスでは、昼休みがとても長い。昼休みの時間は学校によるが、1時間半~2時間程度があるので、家に帰って昼食を食べても構わない。カフェテリアで提供される給食もあり、共働きの家庭では給食を選択する場合が多い。

給食はパン、サラダなどの前菜、肉などの主菜、チーズやヨーグルトなどの付け合せ、デザートといった内容となっている。

日本のように、全児童が同じ時間に教室で同じ給食を食べ、給食当番が給食を配膳するようなシステムは世界では珍しい。

## 活動例

グループごとに1つの国の昼食事情を調査し、発表する。

もしくは、Unit 3に関連づけて、外国の1日の生活について調べてみるなど、Unit 3を学習する中で児童が興味を持った事柄を掘り下げるのがよい。

**Unit 3-1**

What time do you get up?  
I get up at **7:00**.

What time do you go to bed?  
I go to bed at **10:00**.

起きる時こくや、ねる時こくをたずねて、グループで一番早く起きる人と、一番早くねる人をさがしましょう。

		
自分		
友だち		

グループで一番早く起きる人

グループで一番早くねる人

**Unit 3-3**

Do you work at home?  
Yes. I **always set the table**.

① 友だちが家でしている仕事をたずねて○を付けましょう。  
また、どのくらいしているのか、○○○をぬりましょう。

友だちの名前	家の仕事
	 1 set the table ○○○  2 wash the dishes ○○○  3 take out the garbage ○○○  4 water the flowers ○○○  5 get the newspaper ○○○  6 ○○○ <b>N</b> 
	 1 set the table ○○○  2 wash the dishes ○○○  3 take out the garbage ○○○  4 water the flowers ○○○  5 get the newspaper ○○○  6 ○○○ <b>N</b> 
	 1 set the table ○○○  2 wash the dishes ○○○  3 take out the garbage ○○○  4 water the flowers ○○○  5 get the newspaper ○○○  6 ○○○ <b>N</b> 

② 友だちの家の仕事を聞いて、感心したことや、見習いたいと思ったことを書きましょう。

# 児童一人ひとりのための デジタル教科書(学習者用)

新学習指導要領を踏ました「主体的・対話的で深い学び」のための授業支援として、また、視覚障害、発達障害など、様々な障害等により紙媒体の教科書を使用して学習することが困難な児童の学習支援として、「デジタル教科書※(学習者用デジタル教科書)」を通常の紙の教科書に代えて使用することが可能になりました。

※デジタル教科書 … 紙媒体の教科用図書と同一の内容を記録した電磁的記録である教材のこと。

## 基本的な機能の紹介

### 拡大機能

注目するところ、見たいところを、ピンチアウト操作などで簡単に大きく表示できます。

### ペン機能

様々な線種や色、太さで、どんどん書き込めます。間違っても簡単に消したりやり直したりできます。

### 保存機能

書き込みをはじめとする様々な学習履歴が保存されますので、いつでも続きが再開できます。

### QRコード

紙の教科書にあるQRコードがデジタル教科書でも利用できます。動画やアニメーションなどは、オフラインで利用できます。



この他、お互いの書き込みや意見をスムースにやり取りするためのツールや、重要な用語やきまりを暗記するための暗記ペンなど、様々なツールがご利用できます。

## 特別支援に関する機能

紙媒体の教科書のみを使用して学習することが困難な児童のための学習支援機能を充実しました。アクセシビリティを重視し、一人ひとりのニーズに応えます。



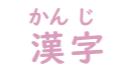
音声読み上げ  
(速度調整可)



拡大表示 (文字サイズ変更,  
リフロー表示、行間調整等)



色の反転・配色変更  
(文字色、背景色等)



かんじ  
漢字

総ルビ表示

Option 追加購入で、デジタル教科書に豊富なコンテンツを追加できます。

### アニメーション

各 Unit の言語材料を用いて、教科書の登場人物たちが会話するアニメーションです。

### 動画

コミュニケーション活動の例示動画や異文化紹介の動画が視聴できます。

### ピクチャーカード

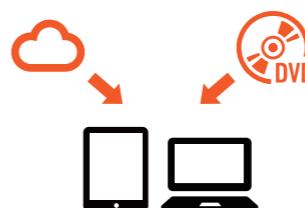
活動に使える様々なピクチャーカードです。

他にも魅力的なコンテンツがいっぱいです。

## アプリ版

### オフラインでいつでもどこでも使いたい!

タブレット等に専用ビューア、コンテンツをインストールして利用します。一部の URL へのリンク機能を除き、教科書画面や QR コンテンツ、オプション購入した各種コンテンツがオフラインでご利用いただけます。



## ブラウザ版

### インストールや更新の手間を抑えたい!

学校等のサーバーにデジタル教科書のデータを配置し、クライアント端末の OS に付属のブラウザで閲覧・操作します。サーバーにデータを配置しますので、インストールや更新作業の工数を抑えることができます。オンライン環境が必要です。

※表示速度は、サーバーからクライアント端末までの有線・無線の通信環境により変わります。



動作環境	学習者用・指導者用とも動作環境は共通です。また、アプリ版・ブラウザ版も同様です。	
対応 OS	Windows	iOS
	Windows 10 (64bit 日本語版) を推奨 ※S モードは対象外 Windows 8.1 (32bit/64bit 日本語版) ※Windows RT は非対応	iOS 11 以上
解像度	1366x768 以上 (1920x1080 程度を推奨)	Retina 解像度の iPad
その他	CPU メモリ HDD 空き容量 画面の表示色数の設定	Core i3 以上を推奨 4GB 以上 1GB 以上 + 教材や学習履歴の保存領域 32 ビットカラー
ブラウザ版 (機能制限あり)	Chrome, Edge の最新版を推奨 (IE 11 は左記ブラウザより速度が低下します。音声読み上げ非対応) ※Web 配信が快適にできる環境 (WindowsServer 2012 以上)	Safari を推奨

● ブラウザ版はネットワーク接続が必須です。● Windows は、マイクロソフト社の登録商標です。● iOS は、Cisco の登録商標です。● iPad は、Apple Inc. の登録商標です。  
※画面や機能は現在開発中のため、変更になる場合がございます。予めご了承ください。

## 指導者用デジタル教科書

「学習者用デジタル教科書」は、学習者用端末で利用する児童一人ひとりを対象にしたライセンス商品です。別途、学校内の指導者用端末にインストールでき、授業でクラス内すべての児童を対象に教科書紙面やコンテンツを電子黒板やプロジェクタで拡大提示できるライセンスを有した「指導者用デジタル教科書(教材)」も、現行版以上にさらに充実して発売予定です。



○付録 CD-ROM にデジタル教科書の機能の紹介動画を収録しています。  
[start.html](#) をクリックして、メニューから選んでご覧ください。

体験版や詳しい内容は <https://digi-keirin.com/dtext/eigo.html>

体験版ユーザーID  
ID: keirin-eigo PW: Eigo2020

小学校英語

# Blue Sky ⑤⑥

elementary

## Teacher's Manual

この資料は、2020年度用小学校教科書の内容  
解説資料として、一般社団法人教科書協会「教  
科書発行者行動規範」に則って作成しています。



ホームページ <http://www.shinko-keirin.co.jp/>

本社	〒543-0052	大阪市天王寺区大道4丁目3番25号	電話 (06) 6779-1531
東京支社	〒113-0023	東京都文京区向丘2丁目3番10号	電話 (03) 3814-2151
北海道支社	〒060-0062	札幌市中央区南二条西9丁目1番2号 サンケン札幌ビル1階	電話 (011) 271-2022
東海支社	〒460-0002	名古屋市中区丸の内1丁目15番20号 ie丸の内ビルディング1階	電話 (052) 231-0125
広島支社	〒732-0052	広島市東区光町1丁目7番11号 広島CDビル5階	電話 (082) 261-7246
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区築院1丁目5番6号 ハイヒルズビル5階	電話 (092) 725-6677

QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。